



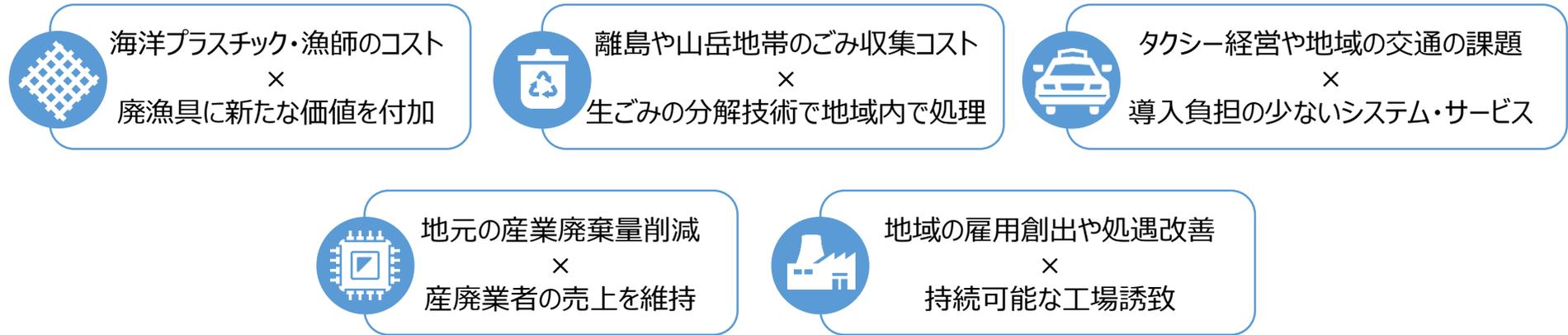
インパクト
コンソーシアム

第2回 地域・実践分科会

2024年10月17日

座長・副座長説明資料

第1回で挙げられた地域のインパクト例（アイデア含む）



主な議論・コメント（後日寄せられたものも含む）

地域におけるインパクトへの気づき・取組み意義

- 意識していなくても課題解決に向き合う地域企業は多い
- 「誰に対してのインパクトか」「社会にどう影響するか」という整理をすると、取組むインパクトが可視化されやすくなる
- 「地域のインパクトとはこういうことである」と、専門用語に片寄らず、**分かりやすい言葉で発信**していく必要がある
- 地域の文脈から、「インパクトとは何か」「どのような事例があるのか」「どのような意義があるのか」という点を、分科会で意見を共有し、発掘していきたい

地域におけるインパクトビジネスの課題・輪を広げる方策

- 地域のスタートアップエコシステムの中で、地域で応援する企業やインパクトを決め、**一緒に大きくしていく**ような仕組みが必要
- 一つの企業の成長でなく、**地域事業者が共に支え合うようなあり方**についても、視点を広げたい
- 今回挙げられたようなインパクトの事例を**支援する組織の観点**も、今後見ていく必要がある
- 経営の課題は、地元での人材採用。**起業家気質の人が地域でチャンレンジできる**ようにする必要がある

第1回分科会の議論に対する主なご意見

インパクトを知る・意識するために

- インパクトは、何か大げさなものを想像していたが、そのような**素朴な気持ちから**今まで見過ごされていた課題を発見し、解決を目指すことが**インパクトにつながる**のかもしれないと感じた
- 地方でインパクト投資や社会的インパクトという概念がまだまだ一般的ではない。**啓蒙に関する自治体や地銀の取組、啓蒙する上での課題**などが気になる

インパクトビジネスを可視化し広げていくために

- 地域課題への対応に重きを置いた事業展開が、地域の中小企業にも広く浸透していくことが重要だと思う。しかし、そこまで**余裕がないのが地域中小企業の現状**ではないか
- インパクトが示されるから投資するということではなく、**お金がインパクトを明確化するツールとして機能する**、という発想はその通りだと考えている

運営に関する主なご意見

- 参加の3社は興味深く、苦勞した点や要望など詳しく伺い、**ディスカッションメンバーによる質疑・意見交換**があると良い。
- 『課題感も多様で、実際的な取組みは容易でない』からこそ、**課題感を掘り下げる小グループのワークショップ**等があると良いのではないかと。
- 地域課題解決事業が抱える**時間軸の課題**に対して、どう向き合っているか知りたい
- 地域におけるインパクト投資の進め方や課題について知れたのは良かった。欲を言えばより**具体的な課題とその解決法**を深くディスカッションしてほしい
- 分科会の中でも、**アジェンダ別のグループ**をつくって、議論をもっと誘発したらどうか

より課題感を掘り下げる具体的な議論を行い、実践の一步を踏み出す際の参考となるよう、**地域・実践分科会で向き合う「問い」を設定し、地域・実践分科会の各回を通して答えを探していく**

その他、地元地域で紹介したい事例等についてもご意見いただくなど、アンケートにご協力下さり、ありがとうございました。

「問い」の位置づけ

地域・実践分科会で向き合いたい「問い」を設定。各回の事例紹介やディスカッションを通して、「問い」への回答を得ていくと共に、関心喚起と、実践の一步を踏み出す際の参考となる情報を提供する。

1 Why? なぜ地域でインパクトを意識することが必要なのか

- ▶ 社会・環境的課題の解決という効果（インパクト）を意図した経済活動が、地域企業等の事業基盤である地域の経済成長・持続可能性にどう貢献するかを考えることで、インパクトを意図した事業や取組みに踏み込み切れていない参加者が腑に落ちる議論を提供。

2 What? 地域で社会・環境的課題解決を事業成長・経営改革の機会とする How? には、自ら「何を（What）」、「どのように（How）」すればよいか

- ▶ インパクトの創出と収益性のバランスに関する課題例や、経営戦略にインパクトを織り込むことで成長の機会に結び付けた事例（人材獲得・企業価値の向上・顧客基盤や関係者との連携の構築等）を基に整理していく。